

学年だより

日和田小学校 第5学年
学年だより 第6号
令和4年4月18日発行

学年経営の方針 パート4

今号では、学年経営の方針 柱3「**落ちているゴミを拾うことができる**」についてお伝えいたします。この目標は、元東京都千代田区立麹町中学校長の工藤勇一さんの本を読んで、考えたことが基になっています。



例えば、ろう下にゴミが落ちています。

Aさん	「ゴミを拾いたい」と思っているけれど、「いい子ぶっている」と思われたくないから、拾わない。	心の底から優しいことをしたいと思っているけれど、人目を気にするあまり、行動できない人
Bさん	「ゴミを拾うことなんて面倒だ」と思っているけれど、先生が言っていたから、拾う。	けして純粋な理由ではないけれど、よいことを行っている人

どちらの人がより価値があるでしょうか？

人は行動の積み重ねで評価されていくものだと思います。そもそも、人の心の中など簡単に分かるものではなく、曖昧なものです。もちろん心が行動を決めるものですが、**行動が心を変える**ことにも注目して指導していきたいと考えています。そのために、子どもたちが行動を起こしやすい、挑戦しやすい環境や人間関係をつくっていきたくと思います。学校は、社会に出る練習場だとも考えています。つまり、いかに失敗を恐れぬ。失敗をしてもやり直すことができる環境をつくるのが大切だと考えています。

4回に渡って、学年経営の方針をお伝えさせていただきました。これらの方針のもと、大切なお子様が成長することができるように努めてまいります。1年間よろしくお願いいたします。

